



平成27年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年5月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社スタジオアリス

コード番号 2305 URL <http://www.studio-alice.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 川村 廣明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 広報・IR室長

(氏名) 田中 和幸

TEL 06-6343-2600

四半期報告書提出予定日 平成27年5月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第1四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第1四半期	6,150	△0.5	△866	—	△849	—	△757	—
26年12月期第1四半期	6,180	8.7	△1,195	—	△1,197	—	△894	—

(注) 包括利益 27年12月期第1四半期 △745百万円 (—%) 26年12月期第1四半期 △895百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第1四半期	△44.60	—
26年12月期第1四半期	△52.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年12月期第1四半期	24,917	16,208	62.5	916.22
26年12月期	26,515	17,771	64.6	1,008.94

(参考) 自己資本 27年12月期第1四半期 15,561百万円 26年12月期 17,136百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	45.00	45.00
27年12月期	—	—	—	—	—
27年12月期(予想)	—	0.00	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,800	2.0	4,550	15.8	4,500	15.8	2,150	22.8	126.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当連結グループの売上高は11月前後の七五三の時期に集中することから下半期に偏重しており、上半期の業績予測が極めて困難な状況にあります。したがって、第2四半期連結累計期間の業績予想を公表していません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年12月期1Q	17,185,650 株	26年12月期	17,185,650 株
27年12月期1Q	201,258 株	26年12月期	201,258 株
27年12月期1Q	16,984,392 株	26年12月期1Q	17,049,392 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビューの手続きの対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビューは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の積極的な金融・経済政策を背景とした円安、株高効果により企業収益や雇用環境が改善しており、緩やかに景気回復に向かう動きが見えておりますが、物価上昇に伴った個人消費の低迷が、わが国の景気を下押しするリスクとなっております。

このような状況のもと、当社グループは、主力である写真事業において、競合他社との差別化強化を図り、お客様に選んでいただけるお店になるための取り組みを行ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は6,150百万円（前年同期比0.5%の減少）、営業損失は866百万円（前年同期は1,195百万円の営業損失）、経常損失は849百万円（前年同期は1,197百万円の経常損失）、四半期純損失は757百万円（前年同期は894百万円の四半期純損失）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

(写真事業)

写真事業は、前年も実施した「入園入学キャンペーン」及びお子様の笑顔を撮ることに絶対の自信をもつ当社だからこそできる「百日お赤ちゃん 笑顔の写真絶対撮りますキャンペーン」に加え、桃の節句の件数獲得を目的とした参加型キャンペーンを実施いたしました。

これらの取り組みを行いましたが、前年同期は4月からの消費税率引き上げに伴う駆け込み需要が大きかったこともあり、フランチャイズ店舗を含む全店の撮影件数は前年同期比で99.2%となり、開店1年以上経過した既存店の撮影件数は同95.6%となりました。

国内こども写真館の出店状況は2店舗出店、退店2店舗を行い、ショッピングセンター内の区画移動・増床を含む改装を62店舗実施いたしました。

その結果、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、国内こども写真館474店舗（直営店舗464店・フランチャイズ店舗10店）、アミューズメント写真館3店舗、ペット写真館1店舗、韓国の子会社におけるこども写真館4店舗、台湾の合弁会社におけるこども写真館6店舗を含め、488店舗となっております。

以上の結果、写真事業の売上高は6,099百万円（前年同期比0.1%の増加）、セグメント損失は876百万円（前年同期は1,193百万円のセグメント損失）となりました。

(衣装製造卸売事業)

衣装製造卸売事業は、前年から取り組んでいる生産コストの低減活動を継続しつつ、当社向けオリジナルブランド衣装等の生産を行いました。

以上の結果、衣装製造卸売事業の売上高は160百万円（前年同期比51.8%の減少）、セグメント損失は3百万円（前年同期は19百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比べ1,597百万円減少し24,917百万円となりました。

流動資産は、法人税等及び配当金の支払いに伴う現金及び預金の減少等により、前連結会計年度末と比べ1,776百万円減少の9,041百万円となりました。

固定資産は、改装等による有形固定資産の取得等により、前連結会計年度末と比べ178百万円増加の15,876百万円となりました。

② 負債の状況

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ34百万円減少し8,708百万円となりました。

流動負債は、法人税等の支払いによる未払法人税等の減少及び短期借入金の増加等により、前連結会計年度末と比べ7百万円増加の6,703百万円となりました。

固定負債は、退職給付に係る負債の増加及び固定負債「その他」に含まれる長期リース債務の減少等により、前連結会計年度末と比べ42百万円減少の2,005百万円となりました。

③ 純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ1,563百万円減少し16,208百万円となりました。

これは主に、当第1四半期純損失及び前連結会計年度の剰余金の処分（配当金支払い）などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結会計期間までの業績は概ね当初計画どおり推移しており、平成27年2月10日に公表いたしました連結業績予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率を使用する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が82,688千円増加し、利益剰余金が53,251千円減少しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

（法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正）

「所得税法等の一部を改正する法律」（平成27年法律第9号）及び「地方税法等の一部を改正する法律」（平成27年法律第2号）が平成27年3月31日に公布され、平成27年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率等の引下げ等が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、従来の35.6%から平成28年1月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については33.0%に、平成29年1月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異については32.2%となります。

この税率変更により、繰延税金資産の金額（繰延税金負債の金額を控除した金額）は61,981千円減少し、法人税等調整額（借方）が同額増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,011,439	4,437,880
受取手形及び売掛金	821,001	961,554
たな卸資産	1,319,338	1,641,880
その他	1,703,122	2,030,156
貸倒引当金	△37,120	△30,020
流動資産合計	10,817,782	9,041,452
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	7,100,547	7,446,094
その他(純額)	3,353,155	3,161,883
有形固定資産合計	10,453,703	10,607,978
無形固定資産	1,113,297	1,187,126
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,121,738	3,148,969
その他	1,183,635	1,114,508
貸倒引当金	△174,835	△182,535
投資その他の資産合計	4,130,538	4,080,942
固定資産合計	15,697,538	15,876,047
資産合計	26,515,321	24,917,499
負債の部		
流動負債		
買掛金	319,123	287,901
短期借入金	800,000	1,850,000
1年内返済予定の長期借入金	20,000	—
未払法人税等	1,140,738	100,416
賞与引当金	79,460	161,059
その他	4,336,560	4,304,442
流動負債合計	6,695,884	6,703,820
固定負債		
退職給付に係る負債	665,140	768,684
資産除去債務	913,459	915,084
その他	469,032	321,288
固定負債合計	2,047,632	2,005,057
負債合計	8,743,517	8,708,878

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,885,950	1,885,950
資本剰余金	2,055,449	2,055,449
利益剰余金	13,313,040	11,738,019
自己株式	△275,592	△275,592
株主資本合計	16,978,846	15,403,826
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	157,381	157,581
その他の包括利益累計額合計	157,381	157,581
少数株主持分	635,575	647,213
純資産合計	17,771,803	16,208,621
負債純資産合計	26,515,321	24,917,499

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
売上高	6,180,056	6,150,164
売上原価	5,740,706	5,528,564
売上総利益	439,350	621,599
販売費及び一般管理費	1,635,191	1,487,845
営業損失(△)	△1,195,841	△866,245
営業外収益		
受取利息	871	864
受取家賃	6,659	6,354
受取補償金	—	12,608
雑収入	6,338	9,670
営業外収益合計	13,869	29,497
営業外費用		
支払利息	3,989	2,697
貸倒引当金繰入額	7,000	8,000
為替差損	—	1,262
雑損失	4,182	1,054
営業外費用合計	15,172	13,015
経常損失(△)	△1,197,144	△849,762
特別損失		
固定資産廃棄損	99,213	116,671
減損損失	24,779	5,765
特別損失合計	123,993	122,436
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,321,137	△972,199
法人税、住民税及び事業税	95,487	81,595
法人税等調整額	△536,214	△307,961
法人税等合計	△440,727	△226,366
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△880,410	△745,833
少数株主利益	14,129	11,637
四半期純損失(△)	△894,539	△757,471

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△880,410	△745,833
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△15,232	200
その他の包括利益合計	△15,232	200
四半期包括利益	△895,643	△745,632
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△909,772	△757,270
少数株主に係る四半期包括利益	14,129	11,637

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	写真事業	衣装製造卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,095,349	84,706	6,180,056	-	6,180,056
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	248,769	248,769	△248,769	-
計	6,095,349	333,475	6,428,825	△248,769	6,180,056
セグメント利益又は損失(△)	△1,193,451	19,855	△1,173,595	△22,245	△1,195,841

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)調整額△22,245千円には、固定資産の調整額等29,584千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△51,830千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「写真事業」セグメントにおいて、店舗の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては24,779千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	写真事業	衣装製造卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,099,153	51,011	6,150,164	-	6,150,164
セグメント間の内部売上高又は振替高	825	109,814	110,639	△110,639	-
計	6,099,978	160,826	6,260,804	△110,639	6,150,164
セグメント損失(△)	△876,472	△3,354	△879,827	13,581	△866,245

(注) 1. セグメント損失(△)調整額13,581千円には、固定資産の調整額等64,839千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△51,257千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「写真事業」セグメントにおいて、店舗の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては5,765千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。